教科横断型授業「地理歴史（歴史総合）」×「外国語（英語コミュニケーションⅠ）」学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号（ 4番 ） 「質の高い教育をみんなに」
実社会での課題	歴史総合においては、「近代化」・「グローバル化」を経て形成されてきた現代社会の諸課題を、生徒が主体的に考察することが求められている。 高校の英語教育では読み書きが中心であるため、長文読解や英作文などの読み書き中心の授業になりがちになっており、「異文化間理解能力の育成」が課題となっている。
生徒に身に付けさせたい資質・能力	・最大の世界言語としての英語で、世界の名言を学ぶことにより、国際的に活躍する人材としての教養・資質を取得させる。
主題（教材）	19・20世紀の歴史的人物の名言

	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項	資料等
導入	これまでの学習内容を振り返る。 本時の目標を確認する。	3	◯近代・現代社会について復習させる。 ◯世界の名言を教材として、国際的な話題・教養の重要性を意識させる。	パワーポイント資料
展開	1 人物クイズ (1) 歴史的考察 1近代的人権思想 Q1マリーアントワネット Q2ナポレオン 2アメリカの分裂 Q3リンカーン 3植民地の独立 Q4ガンジー 4公民権運動 Q5キング牧師 5東西冷戦 Q6チャーチル Q7ｶﾞｶﾞｰﾘﾝとｱｰﾑｽﾄﾛﾝｸﾞ (2) 英文法の解説 Qごとに名言の理解に必要な英文法の説明	24 20	○19世紀の近代社会について概観する。 ○20世紀の現代社会について概観する。 ○人権獲得の歴史観を養う。 ○科学技術の発達に注目させる。 ○既習の内容と結び付けて、名言を身近にとらえさせる。	
整理	本時のまとめをする。	3	○主体的に考察して学びを深め、先人の知恵や異文化理解の重要性を認識させる。	
備考	2025/1/23④限目に実施予定			